

「アーバンデータチャレンジ2014 in Hokkaido 第1回 “まち”をもっと良くするアイデアワークショップ」まとめ発表内容

「広報」「観光」「生活」各グループのワークショップのまとめ発表内容をまとめた。

・広報

室蘭市広報誌や、ホームページ等で市役所から多くの情報が発信されている。しかしながら、情報が多いゆえに読み手が必要な情報を探すのが難しく負担がかかる。また、広報誌を読まない人もおり、そのため人によって適切な情報が正しく行き届いていないということを広報グループは課題とした。

その課題に対し、例として子育て中の女性がほしい情報を挙げ、子育て相談やイベント情報等を必要とした場合、室蘭市の広報が発信した情報が分類されていれば、簡単に子育て情報やお祭りなどのイベント情報が得ることができるのではないかと考えた。

そこで機械及び人の手によって分類した広報をオープンデータ化し、人の集まりそうなところに提供することを考えた。特に機械だけでなく口コミ情報等のように人の手を利用して分類することにより、その場所に集まった人が必要とする情報をピンポイントかつ、よりタイムリーに提供することができる。さらに、その情報を室蘭市の広報にフィードバックすることにより、より読みやすい広報誌の編集などに反映させることもできるとした。例えば、分類した情報をもとに図書館の壁に情報を出力する端末等を設置し、読み合わせや、学校祭のような図書館を訪れる方々が最も必要としそうな情報を表示することや、スマホを持ち込んだ場所に合わせて有効な情報や関連情報をプッシュ配信することなどを提案した。

・観光

室蘭市には多くのいい観光場所や飲食店がある。その一方で、現状として観光客が来てもどこにあるか分からなかったり、何よりも地元の住民が観光に適したいところがあっても気付かなかったり理解しておらず、多くの観光資源が有効に活用されていないことを観光グループは課題とした。

さらにその課題について、もともと室蘭は工業を主に栄えてきたため、歴史的に見て観光に対するノウハウが不足しており、普段の生活において見かける風景など多くの観光資源を見過ごしてしまっていると分析した。そのため室蘭での観光は難しいが、同時にこれらの課題を解決することにより室蘭観光の知名度を向上し、多くの観光客を呼び込むことができると考えた。

そこで解決策として、新たな観光資源の開拓及び、全国に向けての観光情報の発信を行うため、観光客や市民の手を借りて情報を集め、オープンデータとして使う方法を提案した。具体的な方法としては Web もしくはスマホのアプリで室蘭の写真コンテストを開く方

法を挙げた。例えば多くの方に参加してもらうため投票等で決まったコンテスト優勝者には景品をつけるとし、月ごとに「夕日」のようなテーマを決め、スマホ等で撮影した室蘭市内各所の夕日の入った風景の写真を投稿してもらう。そして、その投稿された写真を室蘭市でデータベース化し、その後オープンデータとして、誰もが利用できるようにし多くの人に利用してもらうことを考えた。コンテストを開くことにより、多くの人に室蘭について知ってもらう機会になるのに加え、オープンデータの写真を様々な人に使ってもらうことにより、広い場面で室蘭観光の知名度向上になり、さらに室蘭各所のよい風景を観光地として開拓することができるとした。

・生活

生活グループでは様々な課題の中でも、お祭りやイベントの情報の不足について考えた。特に室蘭ではお祭りやイベントがたくさん行われている地域にもかかわらず、その情報が多くの人に十分に伝わらず、地域の活性化や住民同士の交流にうまく活用できていないと考えた。特に、情報が不十分だと、初めてお祭りやイベントに訪れる人や、また、家族で行こうと考えている人も楽しむことができるか不安に感じ、室蘭市内各地のお祭りやイベントに参加することを遠ざけてしまっているのではないかと考えた。また、イベントを開催する主催者側にも役立つ情報も提供できたら便利でよりユニークなイベントの開催につながるのではないかと考えた。

そこで、お祭りやイベントに参加する人も、主催する人にも役立つアプリを作成することを提案した。具体的には、参加者側の情報や主催者側の情報を収集し、その情報をデータベース化したうえでオープンデータとして公開し、それをもとに Web ベースのアプリを運用することを想定した。例えばそのアプリを使うことによりイベントの種類や日時など条件で検索できるようにし、かつ、イベント内容も簡単に知ることができるようにする。さらに、イベント開催者向けに、借りる会場の情報や、市役所や、備品業者等のイベント開催に必要な連絡先を簡単に調べられたり、簡単にイベントのチラシを作ることができたりするチラシジェネレータや、イベントのスケジューリング機能などを提案した。